

## 情報公開文書

研究の名称	前立腺 IMRT 線量検証トレランスレベルの検討
整理番号	
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・氏名)	富山大学附属病院放射線部 診療放射線技師長 伊藤 貞則
研究の概要	<p><b>【研究対象者】</b> 2019年1月から2023年12月に当院で実施した前立腺 IMRT 症例（骨盤内リンパ節症例は除く）を対象します。</p> <p><b>【研究の目的・意義】</b> 国内において、2000年から IMRT（Intensity Modulated Radiation Therapy：強度変調放射線治療 以下、IMRT）の臨床応用が開始され、2010年にすべての限局性の悪性腫瘍に対して保険適応となりました。現在では、多くの施設で IMRT が導入され、がん治療における治療成績の向上、副作用低減に大きく貢献しています。高精度放射線治療である IMRT を実施するには、患者固有で線量検証を行い、立案された放射線治療計画が許容範囲内であるか確認する必要があります。線量検証には、評価点絶対線量検証と線量分布検証があり、ガイドライン等に評価基準が示されています。しかし、線量検証の評価基準において、統計解析による施設ごとの評価基準（トレランスレベル、アクションレベル）の設定が推奨されています。そこで、本研究の目的は、当院で実施した前立腺 IMRT の線量検証結果を解析し、当院における前立腺 IMRT の線量検証トレランスレベルを構築することです。当院における前立腺 IMRT の線量検証評価基準を構築し、ガイドライン等に示してある評価基準と比較することで、当院で実施している前立腺 IMRT の安全性や妥当性、有効性について、より正確な評価ができると考えます。また、当院における評価基準を構築することは、当院で使用している放射線治療装置、線量検証機器に特化した評価基準であり、線量精度を適切・適正に評価できると考えます。</p> <p><b>【研究の方法】</b> 2019年1月から2023年12月の5年間に当院で実施した前立腺 IMRT 症例（骨盤リンパ節転移症例は除く）を対象とします。前立腺 IMRT 症例の線量検証結果より、評価点絶対線量検証結果と線量分布検証結果を取得し、統計解析を行い、トレランスレベルとアクションレベルを構築します。また、放射線治療計画パラメータを取得し、線量検証結果に相関があるか検証します。臨床研究の対象者に対する検査、治療は、研究による介入は無く、臨床的判断によって検査、治療が行われました。また、取得したデータ、情報は研究を目的として取得したのではなく、診療において取得したものです。</p> <p><b>【研究期間】</b> 実施許可日 ~ 2025年3月31日</p> <p><b>【研究結果の公表の方法】</b> 日本放射線技術学会誌(JSRT)もしくはRadiological Physics and Technology(RPT)にて発表します。</p>
研究に用いる試料・情	前立腺 IMRT 症例の線量検証結果（評価点絶対線量検証結果、線量分布検証結

<p>報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)</p>	<p>果)を収集し、統計解析を行います。前立腺 IMRT 症例の放射線治療計画パラメータ(照射時間、ヘリカルピッチ、モジュレーションファクター、ガントリーピリオド、ジョーサイズ、カウチスピード)を放射線治療計画装置より取得し、線量検証結果との相関の有無を解析します。 (他機関への提供:なし)</p>
<p>研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名</p>	<p>富山大学附属病院長 林 篤志</p>
<p>研究資料の開示</p>	<p>研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。</p>
<p>試料・情報の管理責任者(研究主機関における研究責任者氏名)</p>	<p>富山大学附属病院放射線部 診療放射線技師長 伊藤 貞則</p>
<p>研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口</p>	<p>研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む)を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 076-434-7826 E-mail t1126@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 富山大学附属病院放射線部 副診療放射線技師長 白崎 展行</p>